高齢者の豊かな生活のために　　２０１９年５月１日発行

手 賀 沼 通 信 (第２５４号)

Ｅメール：nittay@jcom.home.ne.jp　http://ynitta.cocolog-nifty.com/blog/　新田良昭
http://jfn.josuikai.net/semi/koyukai　http://tegatu2.web.fc2.com

今月は手賀沼通信ブログからの抜粋です。

手賀沼通信ブログ抜粋

常識はずれな参議院議員定数増（ＮＯ.１１４４）（平成３０年７月１９日）

平成３０年７月１８日、参院定数を６増する改正公職選挙法が衆議院本会議で与党の賛成多数で可決成立しました。

背景には議員１人当たりの有権者数の格差を合憲状態にするため導入した合区が、「人口減少県の民意が国政に届かなくなる」などの理由をつけ合区を解消しようとしたものです。

いま日本は人口減少に向かって突き進んでいます。そのような時代に莫大な費用が掛かる国会議員の定数を増やすことはまさに時代への逆行と言えます。とんでもない改正です。

今の選挙制度は複雑すぎます。各政党と議員の妥協のもとにできた制度で、選挙区からの当選者と比例代表の当選者が複雑に絡み合っています。今は人口の減少の時代に人口が都市に集中する時代です。目先の改正ではすぐまた違憲状態になります。

衆議院と参議院の違いもあいまい、選挙の方法も似ています。選挙区の区割りがスムーズに行えるようにはなっていません。

抜本改正が必要です。私はアメリカの例を参考に次のような案を考えてみました。

まず比例代表はなくします。直接１人の候補者に投票することにします。

衆議院は都道府県単位で人口に比例して定数を決めます。そしてその各県の定数は４年単位で見直し人口に比例させます。そうすれば１票の格差が問題になることはありません。

参議院は各県２人を定数とします。したがって定数は９４人となります。今の半分以下になります。

人口の多い県も少ない県も同じ人数ですから地方の声が届かないことはなくなります。３年に１回各県１人ずつ改選するのは今と同じです。

このように制度を変えるのは憲法改正が必要でしょう。今の議員、特に参議院は定数が大幅に減るため反対が多いと思います。明治維新のように大改革となります。

それでも変えなければ日本がおかしくなるのではないでしょうか。

終戦記念日に思うこと（ＮＯ.１１５０）（平成３０年８月１５日）

平成３０年８月１５日、戦後７３年目の終戦記念日を迎えました。

平成最後の終戦記念日です。戦後生まれの日本人は８０％を超えたそうです。

私は昭和１２年１月生まれ、終戦の時は８歳、小学３年生でした。８月１５日の天皇陛下のお言葉は聞きませんでしたが、母から戦争が終わったということを聞かされました。

私の妻は昭和１８年生まれなので、戦争のことは覚えていません。戦争時代の事をかすかに覚えているのは昭和１５年生まれ以後くらいでしょうか。

終戦でそれまで教えられていた価値観が逆になりました。「鬼畜米英」が「アメリカさんいらっしゃい」になりました。あの時の学校の先生は何を教えていいかわからない状態で、さぞ困ったことと思います。

先日お盆のお迎えで長男一家と食事をしたとき、長男が子供だったころと、孫の時代とは時代が大きく変わっているという話が出ました。

私は長男が子供だったころと自分が子供だったころとはもっと時代が変わったと伝えました。

戦争を体験した人たちは戦争を知らない人たちに語り継がなければとたびたび言われます。しかしそれは私の場合は難しいことと思っています。

戦争からはひもじい思いをしたくらいで、あまり大きいショッキングな経験がないからです。子供や孫たちに戦争の時代のことを話しても、理解できないせいかあまり関心を示しません。

終戦は時代が変わる大きなきっかけでした。価値観が変わったのも大きかったですが、新しいモノがつぎつぎと生まれました。

今では当たり前になっている、テレビ、電気洗濯機、電気冷蔵庫、炊飯器、掃除機、電気カミソリ、携帯電話、パソコンなどの電化製品はすべて戦後生まれでした。集合住宅、マンションなどで住まいも変わりました。、水道、ガス、舗装道路などの普及でインフラも整備されました。一部にはあったけど庶民は持っていなかった家庭電話、自動車が当たり前になり、汽車は電化され、新幹線が誕生、航空機での旅行が当たり前になりました。これらは終戦がもたらしたと言っても過言ではありません。

しかし私たちが子供だったころと、自分の親が子どもだったころとはもっと時代が変わったのではないかと思っています。それは戦争です。親の世代は戦争のため人生そのものが変わったというか、戦争に翻弄された世代だったと思います。

幸いにして私は戦災にも遭わなかった田舎暮らしで、家族にも出征などを経験した人が居なかったので、比較的平安でした。でもその後知り合った友人の中には家族の戦死や戦災にあった人、大陸からの引揚者など大変な経験をされた人が多くいます。

そのような方は語り継ぐことが多くあるのではないでしょうか。

ジャカルタアジア大会が閉幕した（ＮＯ.１１６３）（平成３０年9月４日）

２０１８年9月2日インドネシアのジャカルタで行われていたアジア大会が閉幕しました。

メダルの最終獲得数は次の通りです。

	金	銀	銅
中国	１３２	９２	６５
日本	７５	５６	７４
韓国	４９	５８	７０

前回の韓国仁川大会の成績は次の通りですから、順位とメダル数ともに成績を上げました。

	金	銀	銅
中国	１５１	１０８	８３
韓国	７９	７１	８４
日本	４７	７６	７７

日本選手団の山下泰裕団長は「予想をはるかに上回る成績だった」と述べました。

金メダルの数は１９６６年のバンコク大会の７８個に迫る数でした。

金メダルが増えたこと以外に、女子が活躍したこと、若手が活躍したこと、球技やチーム競技で金メダルが増えたこと、東京オリンピックで新たに採用される種目で多くのメダルが取れたことなどが注目されました。

ただ、体操やレスリングやバドミントンなどで期待を裏切る成績もありました。

今回の大会で大きく変わったのは、中国、日本、韓国の３大強国のメダル総数が６７１個で前回の７７６個を大幅に下回ったことです。

それだけアジアの他の国や地域が力をつけてきたと言えると思います。開催国のインドネシアをはじめとして、ウズベキスタン、イラン、台湾、インド、カザフスタンなどもメダルを増やしたと思います。

日本にとってうれしかったことは、池江璃花子選手が競泳女子で６つの金メダルを取り最優秀選手（ＭＶＰ）に輝いたことです。女子では史上初、日本人選手ではバンコク大会の伊東浩司、釜山大会の北島康介、仁川大会の萩野公介の各選手に続いて４人目の受賞となりました。

２年後の東京オリンピックに望みがつながるアジア大会でした。

貴乃花、角界を去る（ＮＯ.１１７３）（平成３０年１０月８日）

平成３０年１０月１日元横綱貴乃花は日本相撲協会に提出していた退職届が正式に受理され、角界を去ることになりました。

貴乃花部屋に所属していた力士ら計１０人は千賀の浦部屋に移籍しました。貴乃花部屋は消滅しました。

貴乃花親方は9月２５日に記者会見を開きました。その席で元横綱日馬富士による貴ノ岩への傷害事件に関し、内閣府に提出した告発状を事実無根と認めなければ、親方を廃業せざるを得ないような要請を受けたと述べました。そして「事実無

根と認めることはできない」として退職を決断したと説明しました。これに対して日本相撲協会は「圧力をかけた事実はないと反論しました。

私にはどちらが正しいかはわかりません。ただ２２回の優勝を成し遂げた大横綱が角界からいなくなるのは残念でなりません。

私はモンゴルの横綱が巾を利かせるようになってからテレビの相撲はあまり見なくなりましたが、初代若乃花の時代、いやもっと前の若乃花が下から上がってくるころから大の相撲ファンでした。６０数年前からです。

まず最初に好きになったのが初代若乃花でした。それから大鵬、初代貴ノ花、若貴兄弟、そして元横綱貴乃花まで続きました。その間の名勝負、名場面が数多く頭に残っています。右ひざを負傷しながら、武蔵丸との優勝決定戦を制し、鬼のような表情を見せたのは忘れられません。

貴乃花には将来理事長になってもらいたいと期待していました。

今回このようになったのは貴乃花と相撲協会、特に八角理事長のコミュニケーション不足が最大の原因と思います。貴乃花ファンなのにあえて言いますが、日馬富士事件の時にマスコミにとったあのかたくなともいえる取材拒否の態度に貴乃花の考え方がうかがわれるように感じました。相撲協会も邪魔ものはさっさとやめろという態度のように感じました。

もう少しお互いに胸襟を開いて話し合えば解決策はあったのではないかと思います。

アメリカの中間選挙の結果をどうみるか（ＮＯ.１１８２）（平成３０年１１月９日）

２０１８年１１月６日アメリカの中間選挙が行われ、上院は共和党が、下院は民主党が制し、議会はねじれ状態の結果となりました。

	共和党	民主党	
・上院	５３	４７	
・下院	１９９	２３５	その他　１

下院は改選前では

共和党	民主党
２３５	１９３

でしたので、惨敗と言えます。

トランプ大統領は「上院での議席増は歴史的快挙」と言っていますが、下院での敗北については何も言っていません。敗北を認めたくないのでしょう。

大統領のこの２年間の言動に国民の多くがノーを突きつけた結果ではないでしょうか。

ただこれでトランプのやり方が変わるとは思えません。逆にトランプ流を強める方向に行くような気がします。読売新聞は「予算を伴う政策困難に」とありましたが、大統領令で進める政策は強行するだろうとも言われています。

アメリカは一層分断が強くなり、世界は一層混迷するかもしれません。

２０２５年万博が大阪で開催（ＮＯ.１１８７）（平成３０年１１月２６日）

２０１８年１１月２３日２０２５年の国際博覧会（万博）の開催地を決める博覧会国際事務局総会がパリで行われ、加盟国による投票の結果日本の大阪が開催権を獲得しました。

２０２５年大阪万博は「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとし、会場は人工島・夢洲、期間は５月３日から１１月３日の７か月、来場見込みは約２８００万人、１２５０億円の費用をかけ、約２兆円の経済効果を見込んでいます。

日本では過去５回万博が行われています。振り返って見ましょう。

１．大阪万博（１９７０年）　テーマ「人類の進歩と調和」　来場者６４２２万人

・万博は初めて。見るもの聞くものが楽しかった
・あまりの人の多さに驚く
・妻と２歳の長女をだっこしながら３人で見物
・山科の妹一家の社宅に泊まる

２．沖縄海洋博（１９７５～７６年）　テーマ「海ーその望ましい未来」　来場者３４９万人

・１９７２年の沖縄返還を記念して開催
・当時仙台に赴任していたためあまりにも遠く行かれなかった
・１９８１年４月妻と沖縄旅行をしたとき会場跡に行く

３．つくば科学万博（１９８５年）　テーマ「人間・居住・環境と科学技術」　来場者２０３３万人

・我が家から近かったので６回見物（日帰り）
・車で行ったり電車で行ったりした
・常磐線に「万博中央駅」が仮設され、駅から会

場まで２両連結のスーパーシャトルバスが運行された
・つくば万博のため常磐自動車道の未開通部分が開通した
４．大阪花博（１９９０年）　テーマ「自然と人間との共生」　来場者２３１３万人
・５月１５日に前日までの大阪出張に合わせて妻を新大阪駅で出迎え万博会場へ
・大阪ターミナルホテル宿泊
・翌１６日と２日間見物
・珍しい花が多く見られた
５．愛知万博（２００５年）　テーマ「自然の叡智」　来場者２２０５万人
・８月２９・３０日クラブツーリズムのツアーで愛知万博見物
・浜名湖ロイヤルホテル泊
・多くのパビリオンが見られた
　２０２５年は生きていたとしても８８歳です。今度は見物できないと思います。テレビで見られたら儲け物でしょう。

２０１８年日本１０大ニュース（NO.１１９４）（平成３０年１２月２２日）

　平成３０年１２月２２日、読売新聞の読者が選んだ「２０１８年日本１０大ニュース」が決まりました。
１　平昌五輪で日本は冬季最多１３メダル・羽生結弦は連覇
２　西日本豪雨、死者２２０人超
３　日大アメフト部選手が危険タックル。スポーツ界で不祥事相次ぐ
４　テニス・大坂なおみが全米オープン優勝、四大大会で日本人初
５　日産・ゴーン会長を逮捕
６　北海道で震度７、道内全域で停電
７　ノーベル生理学・医学賞に本庶氏
８　オウム松本死刑囚ら元幹部の死刑執行
９　大谷翔平、メジャーで新人王に
１０　大型台風襲来、関空が冠水し孤立
　読売新聞が用意した１１月までの６９項目から１０項目を選んで応募する方法です。
　有効応募総数は昨年の１６８８６通より増えて１８７１０通でした。１０項目的中者は昨年の２０人から大幅に増えて６５人でした。今年も７項目的中者が一番多く１８.４％でした。
　私も応募しました。過去最低の６項目しか的中しませんでした。
　４，７，８，１０の代りに
１２　サッカーW杯ロシア大会、日本は１６強
１５　豊洲市場が開場
２５　貴乃花親方が退職
３０番以下　競泳・池江璃花子がアジア大会６冠を選びました。
　４の大坂なおみの全米オープンを抜かすなど、慎重さが欠けました。

２０１８年海外１０大ニュース（NO.１１９５）（平成３０年１２月２３日）

　平成３０年１２月２３日、読売新聞の読者が選んだ「２０１８年海外１０大ニュース」が決まりました。
１　タイの洞窟で少年ら１３人全員救出
２　史上初の米朝首脳会談、緊張緩和進む
３　インドネシア地震・津波、死者２０００人以上
４　南北首脳会談、朝鮮半島非核化で合意
５　トルコのサウジ総領事館で記者殺害
６　英ヘンリー王子、米女優と挙式
７　平昌五輪開幕、韓国と北朝鮮が史上初の合同チーム結成
８　米が輸入制限発動、米中摩擦が激化
９　米中間選挙。上院共和、下院民主勝利
１０　ＥＵ，英離脱協定を正式決定
　読売新聞が用意した１１月までの４９項目から１０項目を選んで応募する方法です。
　有効応募数は昨年の１１３５２通より増えて１２１４３通でした。１０項目的中者は昨年の８名より減って７名でした。今年も７項目的中者が一番多く２４.５％でした。
　私も応募しました。日本１０大ニュースと同じ６問の的中でした。過去最低です。昨年は日本、海外とも８問的中でしたので、大幅減です。
　３，４，７，１０の代りに
１４　中国主席の任期撤廃、長期政権可能に
１５　トランプ氏、イラン核合意離脱表明
１７　韓国の朴槿恵・前大統領に実刑判決
１８　露大統領選でプーチン氏が通算４選
　選ぶのに好みが入ってしまいました。